

## 「税の作文」で

# 優秀賞と奨励賞の ダブル受賞

毎年、中学生に税の大切さを知ってもらう目的で行われている「税についての作文」コンクール。

香取管内の中学校より応募された1180点の作文の中から、厳正審査のもと、神崎中3年生の瀬宮慧佑くんが佐原税務所管内納税貯蓄組合連合会優秀賞を受賞し、また、佐川詩織さんが佳作に入選しました。瀬宮くんの作文はさらに千葉県納税貯蓄組合総連合会審査に推薦され、奨励賞も受賞しました。

平成18年度、入賞を果たした瀬宮くんの作文を紹介します。



神崎中学校  
3年B組  
瀬宮 慧佑くん

## 私たちが納めている税金

現在私には欲しい物がたくさんある。本や画材、勉強につきかうものなど言いつくせない程、いくらかでも出てくるくらい

だ。そして実際にそれらを買う時には必ず消費税というものがついてきて、私の財布を更に軽くする原因となっている。それが私の消費税をはじめ、すべての税金に対する、あまりよくないイメージであった。

しかし本来、税金は国民の健康で豊かな生活を実現させるための財源、つまり「私達から取られるもの」というよりも「私達のために使われるもの」なのである。けれども私達は、お金を納めることばかりに気をとられ、税金の使われ方をよく知ろうともせず、ただ悪いイメージを持つてはいないだろうか。そう思った私はこの作文を書くにあたり税金の使われ方について調べてみることにした。

納めている税金の一部は社会保障として使われている。社会保障とは、国が国民の生活を支えるために作られた制度の事で、この場合は医療や年金、介護、福祉などの公的サービスのことである。例えば、風邪をひいて病院に行き、診察料を払う時にも税金の一部が使われているのだ。年金や介護、福祉などは今の私にはあまり接点はないが、私の何十年後の未来には必ずお世話になっているはずだ。

その他にも、道路や下水道の整備や森林を守る活動などの公共事業に使われたり、地方公共団体が行っているゴミ収集や処理、警察消防などの費用へと使われている。どれも私達にとって当たり前なこ

とが、それらは私達が納めた税金によって成立していることだったのだ。どこかで使われていると思っていた税金が身近なところで使われていると知った今、私は凄く嬉しい気持ちでいっぱいになった。

また、私が一番意外だったのは、政府開発援助として貧しい国々の支援に税金が使われていることだ。間接的とはいえ、自分が世界の困っている人々の役に立っていると知り、とても驚くとともに感激した。私達の国、日本では、このように税金は使われている。では他の国ではどうなのであるだろうか。

世界には色々な国がある。そしていろいろな考え方や文化があり、それぞれの違いがある。それが原因で争いが起こってしまうこともある。その争いが国ぐるみのものだったら、その国の税金は何に使われているのだろうか。誰かの笑顔を作ることができる税金が、違う誰かを傷つける税金になってしまっているのではないだろうか。実際に日本も戦争中、税金は軍費として使われていた。現在は大きな戦争をしている国は無いが、この先、絶対に戦争が起きないという保障はどこにも無い。

しかし、日本は戦争を放棄した国である。私達の税金は確実に誰かの笑顔を作ることができるのだ。だから私はよりよい納税者のひとりになりたいと思う。

## パソコン教室

### 実務講座の開催

2 / 20 ~ 22

今年度のパソコン教室の3つ目の講座となる「パソコンでシールやラベルを作るっ!」という実務講座を開催します。ラベル作成ソフト等を使って、ラベル・シール・名刺などを作成し、家庭やビジネスなど様々な活用されてみてはいかがでしょうか。

開催の内容や応募については次のとおりです。

☆期日 2月20日・21日・22日の3日間

☆時間 全日とも午後6時30分から9時30分まで

☆会場 神崎ふれあいプラザ 視聴覚室

☆対象者 神崎町在住又は勤務の方

☆定員 20名程度

☆講師 石渡幹雄 氏

☆受講料 無料(テキスト代等実費負担あり)

☆主催 神崎町教育委員会

☎ 1601  
受講を希望の方は、1月16日②から町教育委員会受付しますので申込ください。